

「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

学力向上目標

すべての児童に対して

○基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる。

- ・該当学年で習得すべき漢字を読み書きできるようにする。(テストで80%以上)
- ・四則計算(＋、－、×、÷)ができるようにする。(テストで80%以上)

○思考力・判断力・表現力を高める。

- ・さいたま市学習状況調査【生活習慣等に関する調査】における「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしていますか。算数の授業で問題を解くときに、ブロックや絵、図、数、式などを使って問題場面を表して解こうとしていますか。」の肯定的な回答の割合を前年度より2pt向上させる。

○主体的に学習に取り組む態度を涵養する。

- ・全国学力・学習状況調査【児童質問紙】における「5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか」の肯定的な回答の割合を8割以上にする。

具体的な手立て

- ①児童一人ひとりの学習内容についての理解度を把握し、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る支援を行う。
- ②ICT機器の活用を図り「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を行う。
- ③校内研修で策定した「ゴールモデル・道のりモデル」を活用し、児童が考えをもち、共に学び合う活動の充実を図る。
- ④単元の中で解決方法の見通しをもつ場面と学習を振り返る場面を設定する。

結果

- ・テストの結果から、漢字は87.6%、算数の計算は92.6%で、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得するという目標を達成することができた。
- ・今年度のさいたま市学習状況調査(生活習慣等に関する調査:国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしていますか。算数の授業で問題を解くときに、ブロックや絵、図、数、式などを使って問題場面を表して解こうとしていますか)において、肯定的な回答の割合が前年度より2.1pt向上し、目標を達成することができた。
- ・今年度の全国学力・学習状況調査(児童質問紙:5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか)において、肯定的な回答82.2%で目標を達成することができた。

今年度の振り返り・次年度に向けて

学校課題研修において、全教職員で見合う体育の研究授業を年間3回、ブロック学年で見合う研究授業を年間3回実施したことで、全教職員で児童が主体的に学習に臨む授業づくりの研究を深めることができた。また、校内で策定した「ゴールモデル」・「道のりモデル」を活用し、児童が考えをもち、共に学び合う活動の充実を図ったことにより、知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度の成果指標を達成することができた。

次年度は、タブレットパソコンの活用方法について引き続き実践と検討を重ね、さらなる個別最適な学びと協働的な学びの充実を図っていく。